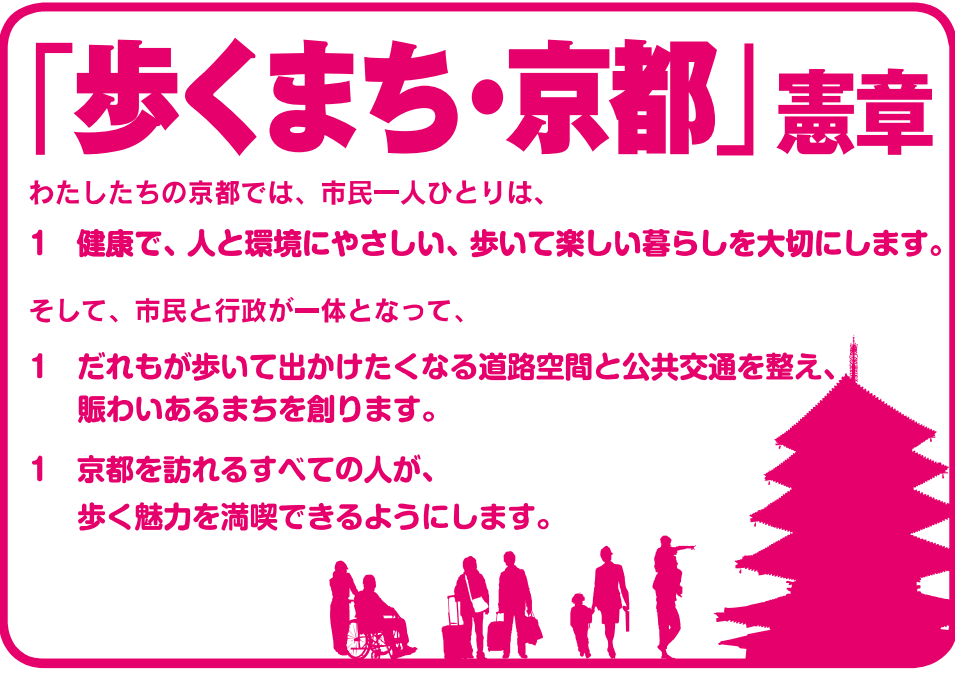


小学校における「歩くまち・京都」プロジェクト ～モビリティ・マネジメント教育の継続的・広域的展開に向けて～

矢内 克志・岡本 智至・木下 友香（京都市都市計画局歩くまち京都推進室）
水山 光春（京都教育大学）
藤井 聡（京都大学大学院工学研究科）

岡本 英晃（公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団）
東 徹（一般社団法人システム科学研究所）

「歩くまち・京都」憲章の制定



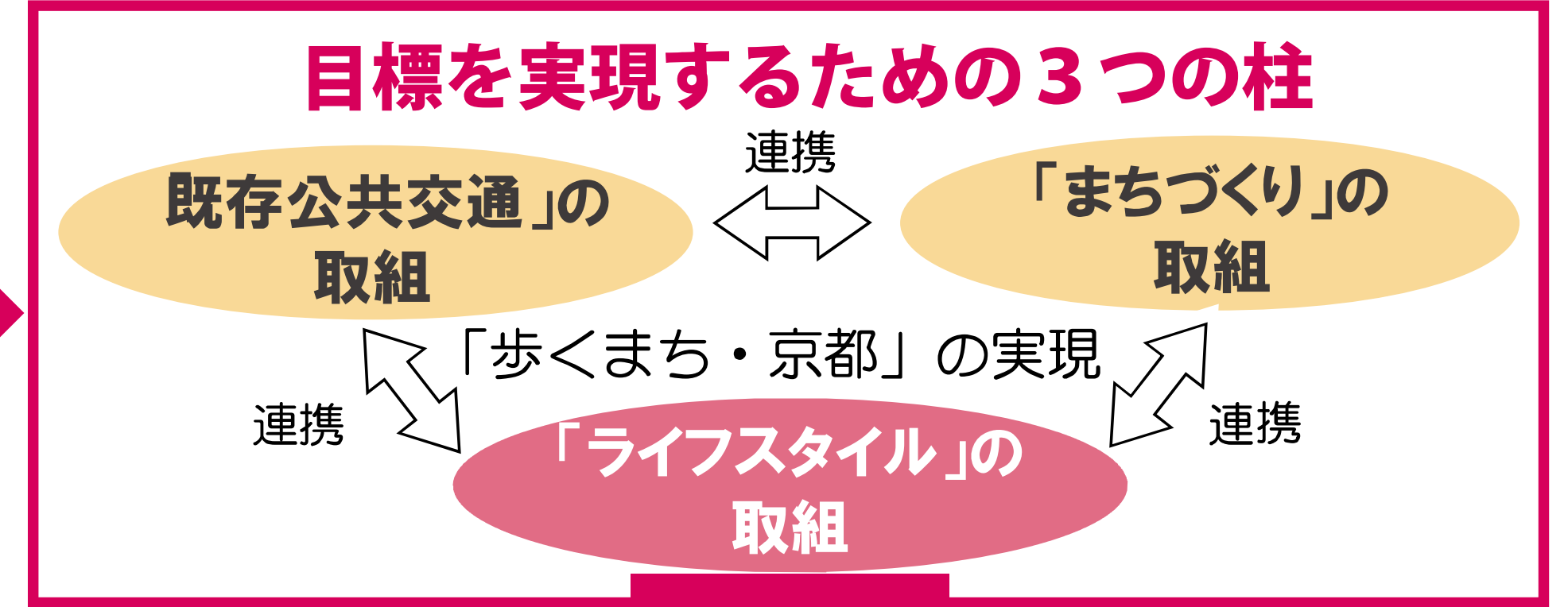
平成22年1月23日、市民・観光客の皆様、そして事業者、行政が一体となって「人が主役の魅力あるまちづくり」を進めるための事柄を明確にするために「歩くまち・京都」憲章を制定

理念実現のための
具体的な取組

「歩くまち・京都」総合交通戦略の策定

憲章の理念を実現するために、3つの柱に基づく94の実施プロジェクトを掲げた「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定

非自動車
分担率・
……
……以上・



モビリティ・マネジメント教育

平成24年度に「学校MM検討会」（現「歩くまち・京都」学習検討会）を設置し、「モビリティ・マネジメント教育」の普及に向けて検討を開始。教員の提案に基づき「学校MM検討会」での議論を通じて発達段階に応じた指導方針・学習指導案・教材を作成。

袖迂吊

バスとの親近感を育む

バスに関する知識やバスに対するおもいをクラスで共有することを通じて、バスに対する親近感を育む、すなわち、「バスと仲良くなる」ことを目指す。

糞迂吊

自分の生活とクルマとの関わりを学ぶ

過度なクルマ利用による問題等を通して、自分とクルマとの関わりを多面的に考えさせる。加えて、行動変容の動機づけを行い、より望ましい交通行動を自ら選択できる態度を育む。

郡迂吊

社会とクルマとの関わりを学ぶ

社会とクルマとの関わりを考えさせることを通じて、より望ましい交通行動を自ら選択できる態度を育む。さらに、社会の問題は1人では解決できなくても、仕組みを変えていくことで解決できることに気づかせる。

もソク・差・査蒸

- 学校全体として「モビリティ・マネジメント教育」に取り組む「歩くまち・京都」学習実践校を募集
平成28年度：3校選定、平成29年度：5校選定、平成30年度：3校選定
- 各校にてMM授業を実施し、年1回以上は公開授業として他の実践校も参観可能

- 京都市街地のガリバーマップを作成
平成27年度：布製ガリバーマップ（サイズ：六畳サイズ286cm×382cm、作成費：約36,000円）
平成28年度：紙製ガリバーマップ（サイズ：A0版×15枚で200組作成、作成費：約3,000円/組）
- 布製ガリバーマップは希望校に貸出、紙製ガリバーマップは市内の全小学校に配布



- 「歩くまち・京都」学習実践校による、地域の特色を活かした取組みや授業内容を発信

【概要】

場所：京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都
日時：平成30年3月4日（日）9時30分～12時
参加者：学習実践校の教師・児童、校区内の住民・保護者
他都市の学校MM関係者等（参加人数：110名）
内容：スライド発表を使用した教師及び生徒による発表
全員参加型の「YES/NO」クイズ等

来場者の感想（参加者全員にアンケートを配布）：

- 子どもたちのまちに対する思いの形が興味深かった
- 子ども・学校が主体となって活動していたことが素晴らしい

第1問

校区内の道路には、自転車走行レーンがあります。
車道と自転車走行レーンの境目にある線は青色である。

YES or NO



今後は、継続的に「歩くまち・京都」学習実践校を募集・選定し、学校におけるまちづくりと交通に関する政策を題材とした、望ましい社会の実現を目指す「公共の精神」を学ぶ取組を通じて、「歩くまち・京都」の実現を図っていく。